

3-5 学校見学から学ぶ (2)

進路情報

1. 題材設定の理由

「学校見学」に参加するのは希望者のみであるため、重要性を感じない生徒も多くいると考えられる。しかし、自分が進もうとする学校を自分の目で実際に見ることや、学習を体験してみることは、進路選択には欠かせないことである。そのため「学校見学」に参加するにあたって、必要な構えや意義を前時に考えさせた。

より「学校見学」を充実させるためには、事前の調査や当日の姿勢・課題意識をもつことが当日の体験入学をより豊かにするものであると考えられる。

本時では、実際に下調べをし、当日の調査の分担やまとめ方などを話し合い、生徒自身の当日の活動を明らかにしておきたい。また、同時にその後の交流の準備ができるよう、目的や心構えを踏まえた上で、事前の取り組みをさせていきたい。

2. 指導のねらい

「学校見学」を充実したものにするために、事前・当日・事後の調査や整理の視点を明らかにし、課題意識をもつことができる。

3. 指導計画 (全1時間)

事前	・前時の「学校見学」の意義について、十分に理解させる。 ・岐阜県高校ガイドブックなどを、できる範囲で用意する。
本時	・「学校見学」の意義を理解し、意欲をもって参加できるようにする。
事後	・後日、学んだことを仲間に交流できるようまとめさせる。

<説話例>

少し前の一日入学の時のことです。一日入学のあと、学級で交流会を行いました。A商業高校に一日入学したグループは、撮ってきた写真を見せたり、実習作業の様子や卒業後の進路などをとても詳しく説明したりしてくれました。それを聞いていたBさんは、まるで自分が

一日入学をしているかのように聞くことができました。Bさんはどこの商業科にするのか迷っていたのです。この発表を聞くことができたBさんは、このグループに大変感謝しました。グループのみんなもよく調べたおかげで、進路決定に大変役立ち、自信をもって受験に向かうことができました。

	活動のねらい	活動の内容	指導・援助の留意点	資料等
はじめの活動	・本時の活動のねらいである、事前調査作業に、意欲をもって参加できる。	◎学校についてどんなことを知りたいのかをみんなに聞く。 ・住所と位置（中学校からの行き方や所要時間、交通費） ・学校の教育目標や特色 ・部活動の活動成績や日常の練習状況 ・制服や校則 ・卒業後の進路 ・校舎や運動場、その他実験設備などの様子 ・男女の生徒比 ・授業料とその他必要な諸費用 ・学校の行事 ・歴史と伝統	・前時の「学校見学」の意義を念頭におきながら、生徒の興味・関心を中心に、次々と発表させる。 ・実際に体験入学をするので、より内容が具体的になるよう、多くの観点や視点から発表させる。	
	課題：見学する学校について調べよう。			
中心の活動	・「学校見学」を実りあるものにするために、事前の調査や当日の参加姿勢、課題意識をしっかりとつことが大切であることに気づく。	◎各高校のHP・パンフレットや資料を使って、P.50に書き入れていく。 1. 学校の概要 2. 学校の特色 3. 通学の便 4. 学科の内容と取得できる資格 5. 進学先 ◎同じ高校見学者同士集まり、打ち合わせをする。 ・その高校見学者の代表は、司会をする。 ・出かけて調べる内容を明確にし、それぞれを分担する。 ・質問をする担当者 ・メモを整理したり、帰ってからまとめをする担当者 ・施設や校訓を確認してくる担当者 ・代表は、分担や意見をまとめる。	・各学校のパンフレットやポスター、インターネット、ホームページでの高校紹介の資料などから、学習ノートの各項目の内容に沿って、記入させていく。 ・「学校体験」に実際に行かない生徒にも分かるような発表の方法を考えさせる。 ・後日、より明確な発表ができるように質問や見学の方法を考えさせる。	・「岐阜県高校ガイドブック」 ・各高等学校のポスターやパンフレット ・卒業生からの資料も準備できるとよい。 ・P.50
まとめの活動	・「学校見学」に対しての目的を明確にもつことができる。	◎調べてくる内容を発表する。 ◎集合時間や集合場所の打ち合わせをする。	・内容の充実している班に発表させ、他の班の参考にさせる。	